



Youkai i

け～すふあいる



ほら…頑張っ
て！
しおりちゃん！

で…でも

ドキ

ドキ

男子の視線に
慣れるためじゃん！

う…うん



ねえ…どうう？

うう…は
恥ずかしい…

すぐに慣れるって
じゃあ次は
ショーツを脱いで
しおりちゃんの
見てもらわなく
っちや

ドキ

ドキ

え…!?!
あそ…アソコって
…うう 無理だよお

そうだよね
いきないは無理だよね
じゃあ私が見本
見せるから…



うわぁ

うわっ…
まずいよ

ちゃんと見なさいよ
しおりちゃんのためなんだから
アンタも協力しなさい!

い…いいのかなあ

しおりちゃん
オナニーは
このお豆み
たいな所が
気持ちいいの

うわあ

どう？
中まで見える？

びびりピンク色して
湿ってて光ってる

グイ

う……うん

ん……んあ
ほら……次は
しおりちゃん
の番

うわあ

で……でも

あ……ん……
これくらで
恥ずかしがってたら
オシヤレになれないよ！

フ
フ

ううう…やっぱ
恥ずかしいよお…

かわいいアソコして
るよ！
ね！アンタも
そう思うでしょ？

そ…そうだね
しおりちゃんの小さくて
ビラビラも大人しくて
しおりちゃんらしいよ

何よそれー
変態っぽーい

んき

んき



ほら…しおりちゃん
オナニーよ

うう…ん
…ア…
こ…これ
いいのかな

お豆の皮が
捲り上がって…
その調子

ドキ

ドキ

うん…
ん…
ん…
ん…

ビク
ビク



イツちやっただ
男子の前でオナニーして
イツちやうなんて才能あるよ
次のステップ行こうか

はあ…はあ…
え？次？

んき

んき

フェ・ラ・チ・オ！

えッ!?



わあ…こんな
勃起させて…
期待してたんでしょ

こ…これが男の子の…
うう…クラクラする

ほらしおりちゃん
こうやって
舌を這わせて…ん…んっ

んっ
んっ

4回

4回

うう



しおりちゃん
上手う

次は口に含んでえ...

んっ
んっ

4回

4回

ビクッ

ビクッ

うっ

うう...んっ...
んっ...しよっぱい...

うわあ...
マイちゃんと
しおりちゃん
俺のを舐めてる...

うん…
もつと舌を這わせて
頭を上下に…そうそう

…ころころ…
かな

んっ

んっ

んっ

ジタ
ポ

ジタ
ポ



うあ…
しおりちゃん
すごいい…うん
出る…

ん

ん

ん

ん

ん

ん

うあ…
しおりちゃん
すごいい…うん
出る…

初めてなのに
飲んじゃうなんて
やっぱり
しおりちゃんすごいわ...

ん
ドブツ

ん
ん



私も負けてられないね
次はセックスだよ

ええっ!?!
せ：セックス
そんな早いよお!

セックスをして
女の子はキレイ
になるのよ!

さすがにセックスは

とか言いつつ
アンタも準備万端じゃん!

さつき出したばかりなのに
セックスへの期待で
早くも回復してしまった

ギン
ギン

う…動いて
いいよ…

んっ…
入ってきてる…

うあ…マイちゃんの中
ぐちよぐちよで気持ちいい

あ…ん…

グググ



ん♡ん
ん
ん

奥までツ…
ひぐっ…届いてツ
ん…あッ

ん
あッ

はあ…はあ…
気持ちはいい
すぐに出ちゃうよっ

ぐちゅ
ちゅ



ピユッピユッ
中で出てるうう...

く...う...!!



あっあっ
ひやッ熱いのがあ





あーあ

あーあ

ピョッ

ピョッ

すごおい...たくさん...
溢れて...んっ

あーあ

ゴッ

しおりちゃん
初めてなのに
バツクなんて大胆！

うう……う……

ふるふる

前からだと
おちんちんが
入って来るとこ
見えて緊張
しちゃうから……



ぐきぐき

いい…入れるよ
しおりちゃんッ！

ムニッ

うん…うん…うん…





グキグキ

しおりちゃんの
すぐくキツイ！

ん
ッ
!!

ギュクッ

グググ

痛ッ…ひい

大丈夫？
しおりちゃん

うん…少し痛いけど…
頑張る…
いいよ…動いて

ギョッ

ズグッ

グググ









あ…ああ…
熱いの…
出てるう…

ああ

ひゃあ…あ…

あ…



ド

ビュ

ビュ
ル
ル



はあ...はあ...
すごく気持ちよかったよ
しおりちゃん...

はあ
あ

はあ
あ

はあ
あ
ビクッ

ビクッ



「ひっく……ひっく……痛い痛いよお……ひっく」

しおりちゃんの身体から紫色の煙が抜けていくと同時に
マイちゃんの身体からも抜けていった。

「あれ？ あたし今まで何やって……あっ！

しおりちゃん、どうしたの泣いて」

（……妖怪に憑りつかれてたの忘れてたっ！）

「ちよつと、アンタなんてこととしてくれたの」

マイちゃんが向かってくる。

「こ……こんなときは、そうだ俺のともだち、忘れん坊！」

「はあはあ……一時はどうなることかと思ったよ」

「どうしました？ 随分と焦っているようですが

わたくしがいない間に事件でも」

ソフトクリームのような妖怪執事が声をつけてくる。

お化けのような妖怪執事が声を掛けてくる。

「えつと……全然、事件なんて何も起きてないよっ！

全然ふつーだよっ！」

忘れ物をとりに戻ると、教室で誰かが苦しんでいる声が聞こえる。

開けっ放しの扉から覗き込むとミカちゃんが股間を机に押し付けているところだった。

（うわ……ミカちゃんがオナニーしてる。）

扉も開けっ放しで不用心にもほどが……

これっでもしかして……）



ん…ん…ん…
は…あッ…
きもち…んッ
いいよお

あ

んっ

あ
あ

あ
あ

あ

ムニ
ムニ

くちゅ

くちゅ



んツ…机の角が
アソコの突起部分に
当たって…んあッあッ…

あッ

あッ

あッ

ムニ
ムニ

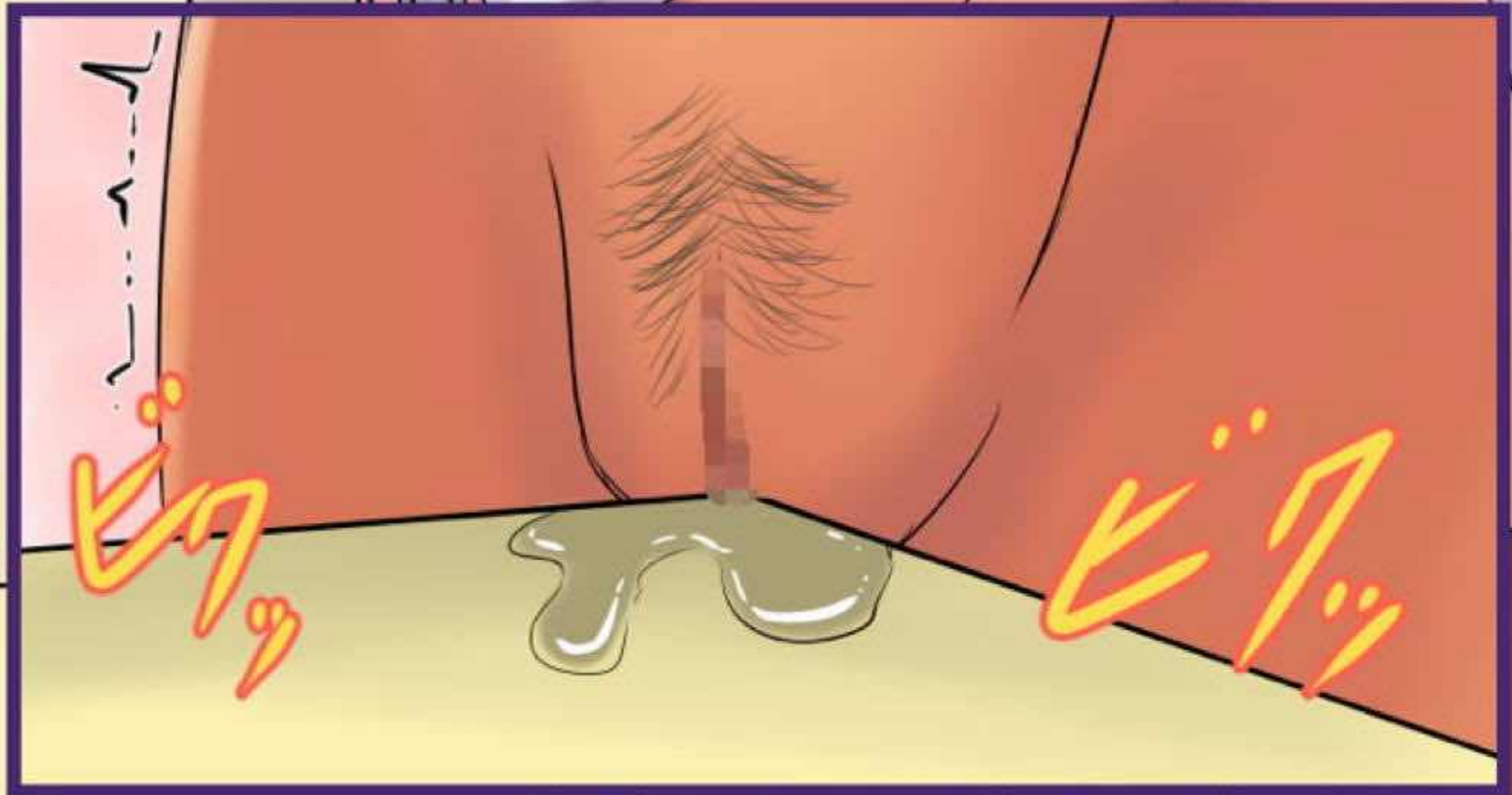
うわあ…
ワレメが食い込んでるよ

くちゅ
くちゅ

くちゅ



あ
ん
ん
ん
ん
ん





はあ

はあ

はあ

はあ

はあ
あ

はあ
あ

はあ
あ

はあ
あ

ガ
タッ

しまった!?!
夢中になって教室に入ってた
俺まで不用心に...まずい

「ずっと見てた？ マジ？」

「覗くつもりは無かったんだけど……」

「扉が開いてて、たまたま……」

「そっか……な、なあ……アタシ身体の火照りが治まらないんだ」



「み……ミカちゃん、当たってるよ」

「やっぱ、アタシみたいなの男じゃ、その気にならないか……」

「そんなことないよ、ほら」

「あ……あたしのに硬いのが、アタシなんかで興奮してくれてるんだ……」



あッ♡

わっわっ...入ってる...アタシの中にッ

あッ

あッ♡

ん♡

ミカちゃんのが すごく締めつけてくる

ゴゴ

ゴ



あはは♡

あはは

あはは♡

あはは♡

んっ♡

あはは♡

あはは♡



あッ
あッ

あッ

わあッ
中であつて
出る

ビクッ

ビクッ

ムキ

ムキ

くうッ
出るよッ!





「あれ？ アタシはどうして裸で……」

え？ え？ 股間に何か入って、あ痛っすげーいてえ」
「はあ、はあ、よかったあって、またやってしまったっ
俺のともだち忘れん坊！」

「なるほど、そういうことでしたか」

教室を出るとソフトクリームヘアーの妖怪執事が
傍らに現れていた。

「うわっ急に現れないでよ！」

「いえいえ、いいんです事情は察しました。

ええ、ええ、妖怪の仕業ですね。互いに顔を見合わせる
のも気まずいでしょうし、二人ともきっぱり忘れて
しまう方がいいでしょう、はい。

ささ、ご主人も忘れん坊をつて、あるええええええ
なぜゆえ、わたくしの高貴な頭にいいい」

いふしゅ

どくどく

怪奇現象が起こるといふ噂のジムにオカルト研究会の「員として呼ばれてしまった。」「おかしいわね、この階だけ人が誰もいない……」

ジムの3階を見回しながら前田さんが呟く。「……探索してみようよ」

「くくく、なにやら怪しいねえ……」

口元に笑を浮かばせながら、眼鏡の酒井さんが前田さんの呟きに応える。

「妖怪は沢山いるのですけどもね。みなさん肉体改造に励んでいらっしやいますねえ。いい機会ですから、わたくしもシェイプアップに参加してくるでういっす」

ソフトクリームヘアの妖怪執事はトレーニングマシンが並ぶ部屋に飛んで行った。

「向こうの部屋を探索するわよ、行きましよう」

後を追おうとしたとき、闘技リングのある部屋に向かう前田さんに引っ張られてしまった。

「あ、ちよっと待って」

リングの上でぎしんあん鬼と砂夫たちがバトル中だ。妖怪が見えていない二人はバトル中のリングに上がり探索をはじめめる。



ヤラシイ目で
どこ見てんのさ…
ちやんと調査して
るんだらうね

ジロツ

サマ
サマ





どうしたの？

いやね…さっきから
スカートの中に
視線を感じるからさ

え？全然！
全然見てないから！

本当かなあ…
疑わしいねえ…
ならちよっと
こっち来てくれる？

なに前かがみに
なっぺんのさ…
やっぱり私達の
スカートの中
覗いてたんじゃ
ないかねえ…
疑わしいね
いから上がっ
てきなよ

今はちよっと…
(やばい、勃起して
るのが
バレちゃうよ)

男の匂いが
ムンムンするねえ…
私そういうの
キツイんだよね…

疑わしいねえ…

き…気のせいだよ！
(これ以上近づかれると
我慢汁の匂いが)

あら本当
何だか匂うわね
ふふ…





見たいなら
下着くらいは
見せてあげても
いいのに

二人とも何を
ちよつと…



くくく…大胆だね
じゃあ…私も…

全然っ全然っHな目で
見てないから

ズボン膨れてない？
やっぱり興奮して
たんでしょ？

疑わしいね…
なら脱いで
見せてごらんよ

こ…これは
ズボンのシワが
盛り上がってる
だけだよ

あらいいわね
私も興味があるわ
男子のちんちん
見てみたい

ちんちん
見たいって
前田さん直球すぎっ
やっぱり憑りついて…



まあ……

私触ってみたいわ
ねえ……触っても
いいかしら？

こんな
ギンギンに勃起させてる
くせに興奮してないなんて
よく言えたもんだねえ……

……く……く……

うう……
仕方ないっ





あら…幹は硬いけど
先端は柔らかいのね
ふふ…かわいい…

男臭い匂いが
強くなってきたねえ…
くくく…

ぷい

ぷい



ヤダ：私も
興奮してきちゃった
私：前からフェラチオに
興味があったの
ねえ：舐めたいわ
いいでしょ？

いびき

いびき

先っぽから
臭いのが垂れてきたね
私たちが触れられて
感じてるのかい
くくくく



ん

んあ

びび

んあ

ん

びび



ん、
ん、

ん、
ん、

ん、
ん、

ん、
ん、

ぢゅぢゅあゝ
ぢゅい

ぢゅほ
ぢゅい



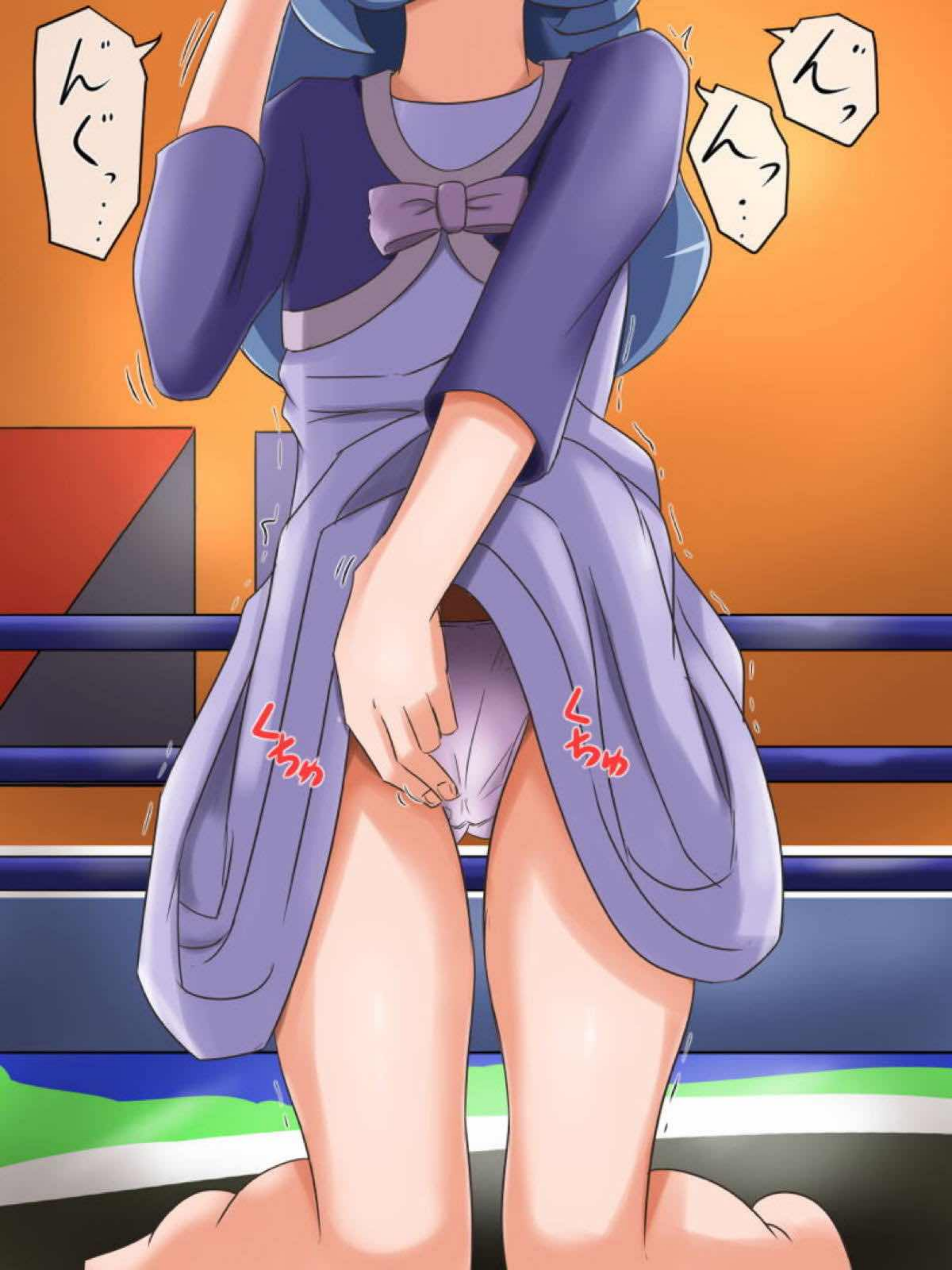
と

い

ん
!?
..

ん
...
ん
ん
ん

ぐ
ぐ



んぎ

ん

ん

ん

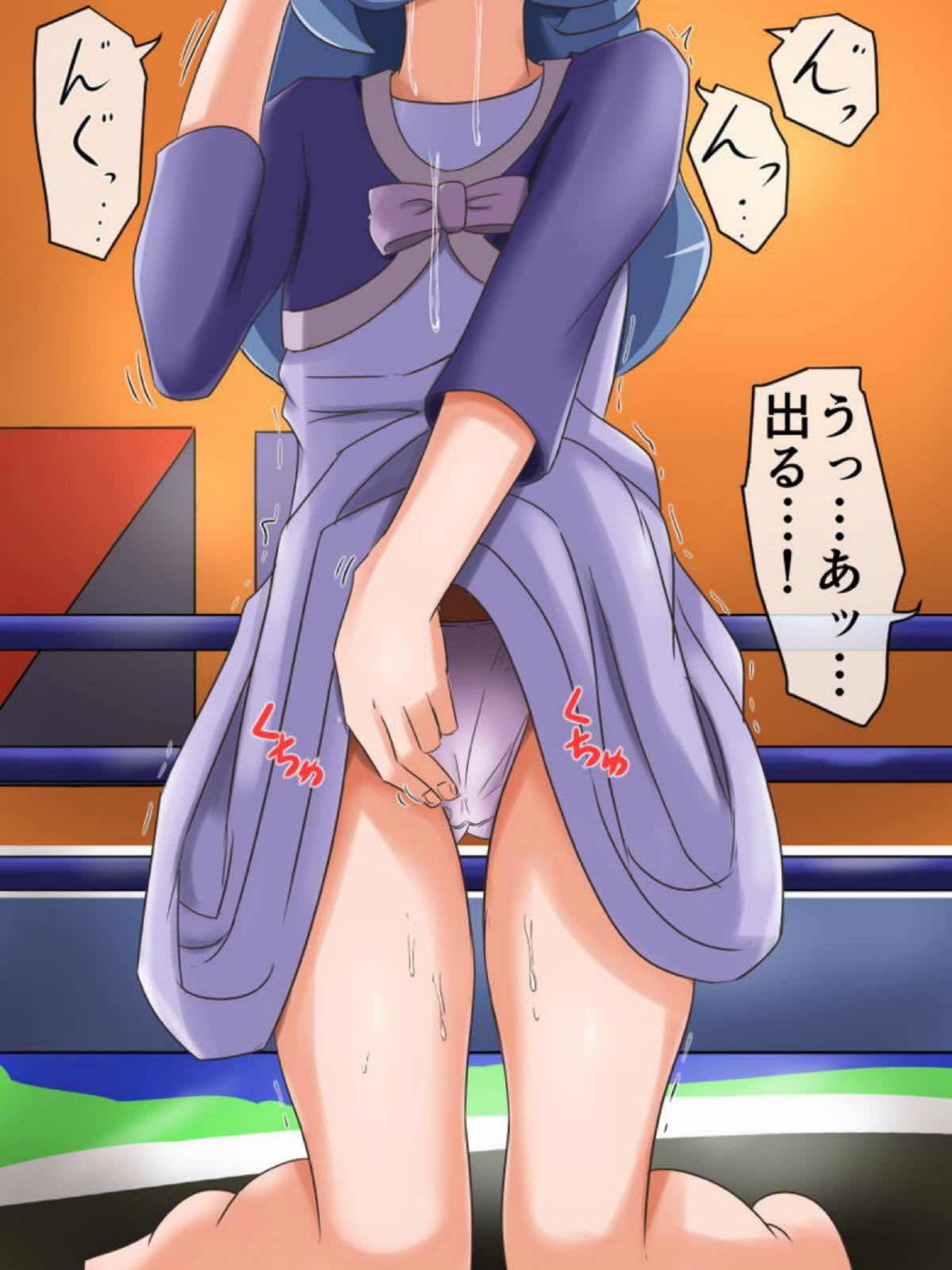
ん
ぎ
...

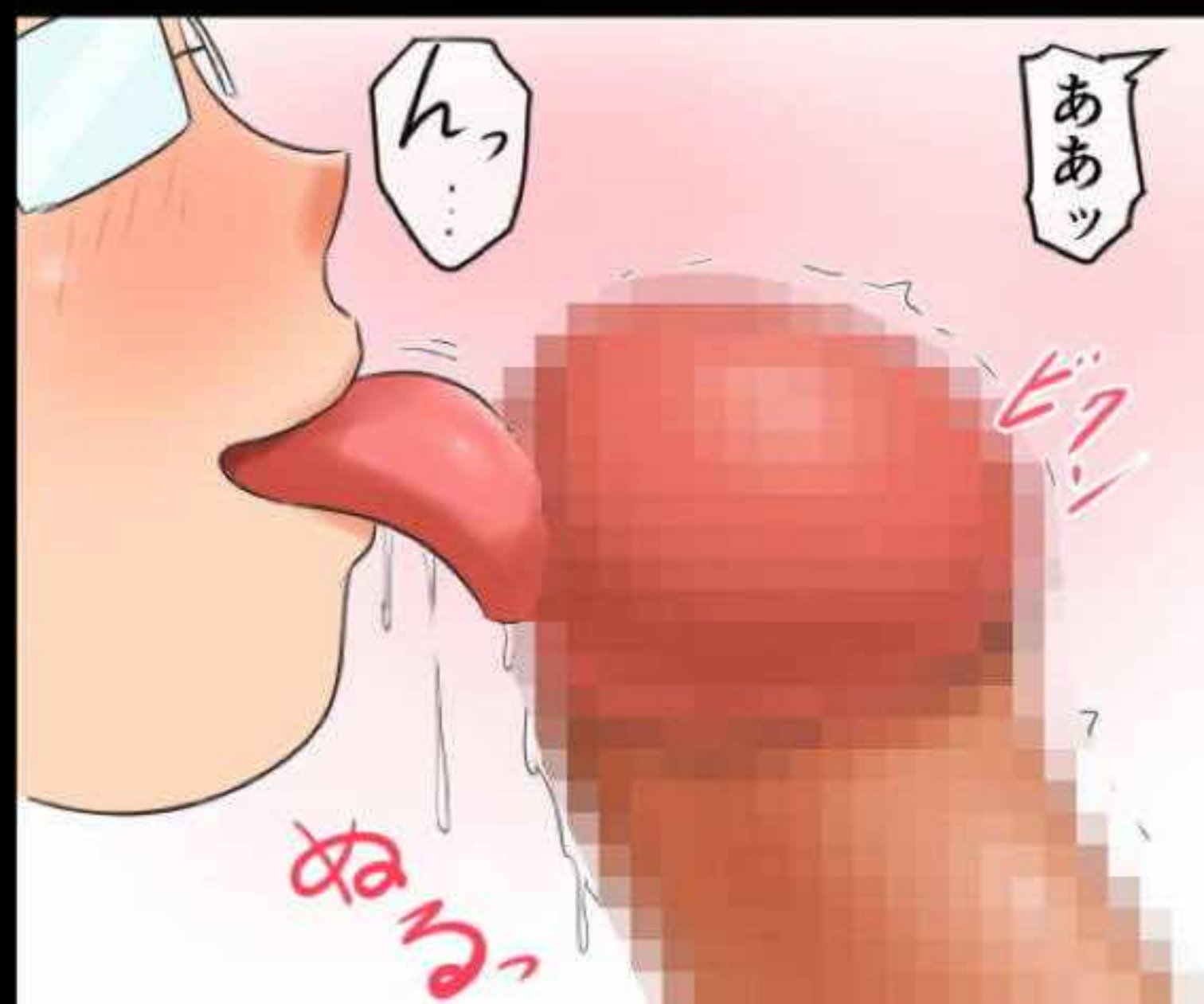
ん
ぎ
...

うっ...あッ...
出る...!

しゅわ

しゅわ







く
...

ん
ん
...

あ
むっ

カ
ポ
...



ん

ん

ん

ん

ん

ぢゅ
ぢゅ
ぢゅ
ぢゅ
ぢゅ
ぢゅ

ぢゅ
ぢゅ
ぢゅ
ぢゅ
ぢゅ
ぢゅ

ぢゅ
ぢゅ
ぢゅ
ぢゅ
ぢゅ
ぢゅ





くぐぐ

ドブツ

くぐぐ

うぐぐ...
出るッ!!

前田さんの
あんなに濡れて…

はあ…はあ
アソコが熱くて…んッ
我慢できないの…その硬くて
熱いおちんちんを
この熱くて火照った穴に
入れてえ…はあ…はあ

はあ

はあ



ああ

ああ

早く来てえ...



ピクッ

ワキ



んっんっんっ

ッ…んッキノコの傘が
ゴリゴリ擦りながら
私の中にグリグリ進んでッ
ひや…アッ…

ああ

ああ



うあっ積極的
腰を押し付けてきて
前田さんって
こんなHな子
だったんだ

ズググ

グ





めあ
めあ
うあ
めあ
めあ

ああ
うあ
うあ

出る...
うあ...
!!

びん

びん

どぶ

どぶ

私も我慢できなくなっ
ちやっただよ

くくくく…
ケダモノくんなら
まだイケるでしょ…

スツ

スツ

うう…
もう限界…

ああ

ああ

もう…こんな
私の中で元気に
なっちゃってさ…
子宮口に
当たってるよ
ん…

ん…く…
は…ア…ん
や…ぱり
ケ…モノ…く…んだ

グ

グ

うあ…酒井さん
すごい締めつけ
く…

ギョウ



じゅん!

じゅん!

じゅん!

じゅん!

あ、あ、

あ、

ん、は

ん

あ、



あゝ
あゝ!! あゝ
あゝ!!

あゝ!!
あゝ!!
あゝ

ズッ! スッ!

ズッ!
ズッ!



んっ!!
んっ!!
んっ!!

あうッ...!!
おくうッ!!

んぐ!!

ぐちゃ ぐちゃ



あ♡
あ♡
あ♡

あ♡
あ♡

てびゅんぱん!!



「はあ、はあ、妖怪の仕業とはいえ霧田氣に吞まれてしまった……ふう。こんなときは俺の友達忘れん坊！」

「また……やってしまわれたのですね……。」
気づけば後ろに妖怪執事が浮遊していた。

「うあ！いきなりビックリさせないでよ！」

「あんさん、霧田氣に吞まれたとか言いつつ、楽しんじゃってませんか？」

「ははは、ぜ、全然そんなことないよ、よ。あくまでも妖怪の仕業だよ！」



ふふっアイドル競争は
早いもの勝なのよ

め：メグちゃん
アイドルのオーデイションの
練習を手伝ってって話だった
んじゃ：

あつメグちゃん
抜け駆けし
そうはいかないんだから！！

スロ
ー





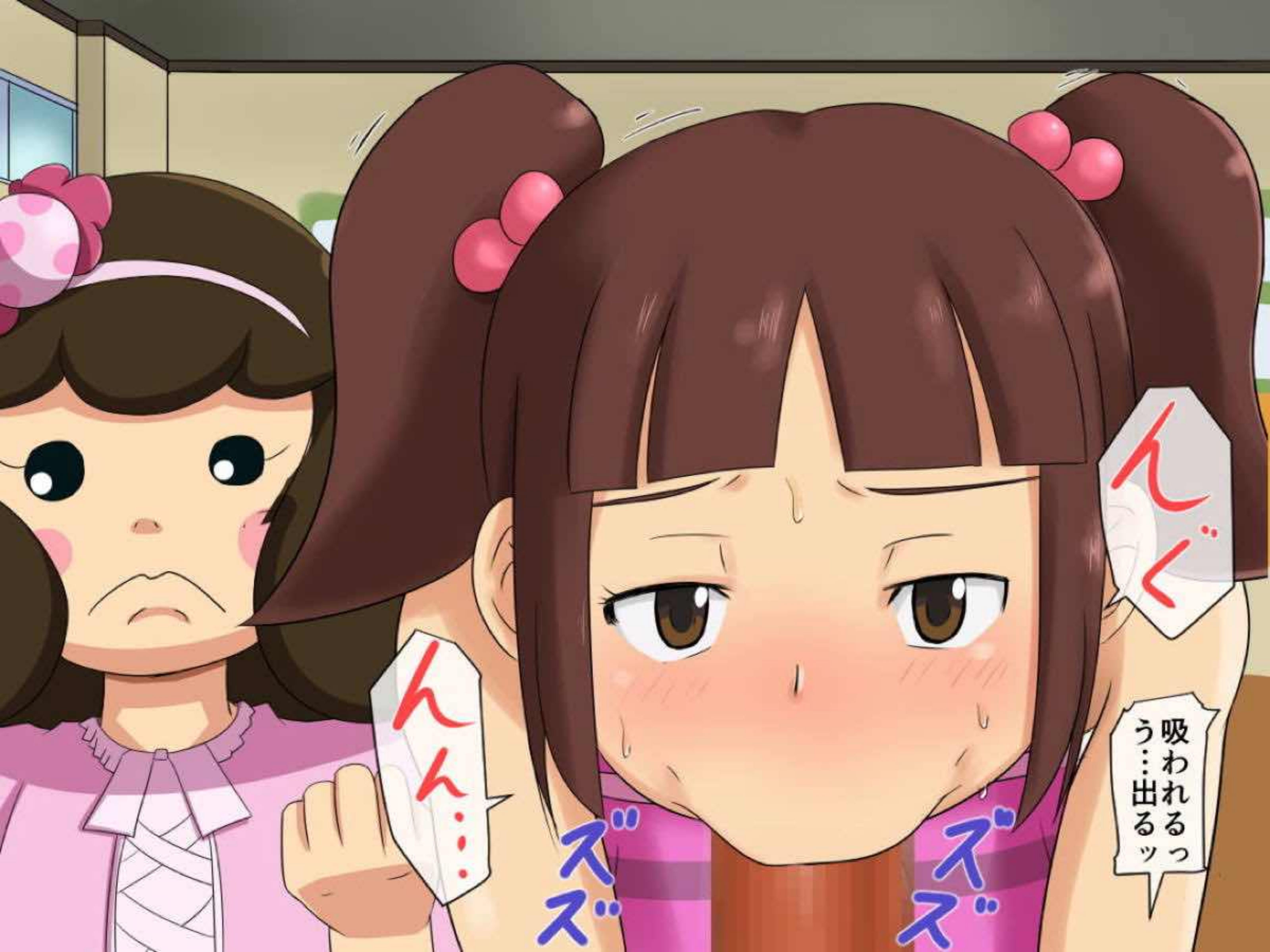
ん
い
い

ん

ん
い
い

グッ

グッ



んん...

んぐ

ズズ

ズズ

吸われるっ
っ
出るッ



ブツ

んん

んぐ

次はアイたんの
番だからね〜!

どう〜アイたんの
素股のほうが
メグちゃんのフェラ
より気持ちいいでしょ〜

ぐに
ぐに



んっ♡

あ♡♡

は♡♡

んっ…んっ
アイたんの中いっぱいに
おちんちん入ってるよ

あ…アイたんは
本番だつてさせて
あげるんだから

んっ…んっ
アイたんの中いっぱい
うっ!!

グッ
グッ

うあっ
根元まで…
先端が壁に
当たって
すぐイキ
そうだ…



あ♡
♡

あ♡
♡

あ♡
♡

す♡
♡

ドクッ

ドクッ

ドクッ
ドクッ
ドクッ
ドクッ

ドクッ

ドクッ

あ
あ

あ
あ

わ：私だって
セックスさせて
あげるんだから

う：うん…
アイちゃんのなんかに
負けないから入れていいよ

メグちゃん！
いいの！！





あー!!

あー!!

あー!!

あー!!

ズーン!!

ズーン!!

ズーン!!

グチグチ



あーあーあー

あーあーあー

出てるッ!?
熱いの出てるッ!!

ビクッ!

ビクッ!

ドクッ!

ドビュッ!!



あ
あ

あ
あ

あ
あ



はあ

はあ


はあ

「よし！俺のともだち忘れん坊！」
俺がともだち妖怪を召喚しようとして
ポーズを決めたとき背後から声が聞こえた。
「あんさん、手慣れてきてませんか？」

えーふみちゃんを
かばうのー

ふみちゃん
ばかり私もー


思わぬことで、サトヨちゃんと
チヨちゃんが俺を横取りし合う
ことになった……



ねえ…こういうの
好きかな
私のもものになったら
もつと見せてあげるよ！

あー!?!
そういうことするんだ
なら私も…

スス…



サトコちゃんとチヨちゃんの
ほうばっかり見て…もう
私は上も見せちゃうんだから

カチカチに
硬くさせて…
私がいいんでしょ

違うよねー
私のほうが
いいよね…

わっわっ
二人とも
どこ触って
うあッ…

クニ

クニ



あつ…ふみちゃん
それ反則ッ

私が大き
したのに

んんん
んんん

ふ…ふみ
ちゃんッ

カポッ





んく

ん

ん

シブッ

シブッ



ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ジュッ

ジュッ

ジュッ

ジュッ



ん

ん

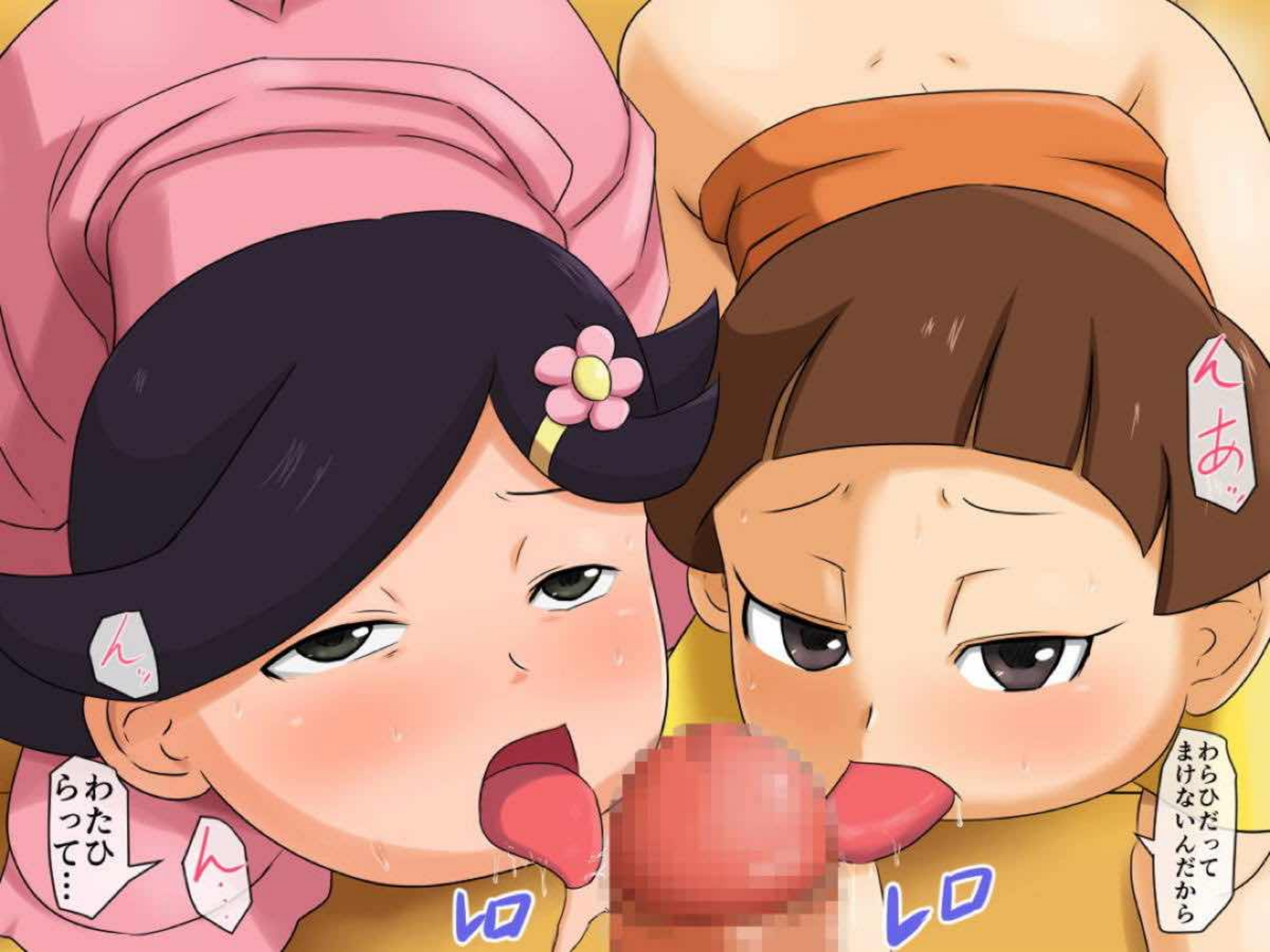
ん

ん

ドゴゴ

ゴッルン

んんん



んあ...

わらひだって
まけないんだから

わったひ
ら...

ん...

ロ

ロ



んあッ

ん

ゴッ
ゴッ



ん...
たたくさん
出たあ

ん...
変な味い

精液飲んだら
我慢できなくなっ
ちやっただ…
ねえ…
最後までお願い…

サトコちゃん
ずるーい!

い…いいの!!
俺もサトコちゃんに
入れたくて!!



もうこんなになってたんだ
ガチガチに
い...いくよ!!

...うん
いいよ...



サトコちゃんの
絡みついてきて
すっごい気持ちいい!!

あ♡

あ♡

ん♡

あ♡

ニタニタ
ニタニタ
ニタニタ



うあっ…
いっ…イクッ

私も…私もお…
イクッ
いっちやうッ…!!

クッ
クッ

あ
あ

ん

ビッ

ビッ





はあ

はあ

はあ

ビクッ

ビクッ

ドグッ

ねえねえ

チヨちゃんまで
もちろんだよ

まだやれるでしょ
私にもおちんちん
ちよーだいいっちん!!





あんっ♡

んあ♡

んっ♡

あ♡

あんっ
お腹の奥に
当たってるう♡

俺のをズツポリ
啜え込んで
ちよちゃんの
すぐくいいよ！

ズツ
ジツ



くう〜中にッ
だっ…出すよッ

ヨシヨシ

ハッ♡
ハッ♡

あゝ♡

あゝ♡
あゝ♡

ヨシヨシ

ドクッ
ドクッ

ビッ

ハッ



はあ

はあ

H気持ちいい
よお

ピクン

はあ

はあ

ピクン

はあ...はあ
最高だったよ
チヨちゃん...

ドロ

ドロ



ねえ私にも
セックスして〜

ああ

ああ

ああ

早く私にも
挿れてえ

ああ

フミちゃん
とHが
できる
なんて

んっ！
激しいッ！
子宮まで届いて
あっ…ひッあッ！！

あっ

すっ

あうッ

すごいっ
感じるう…
きもちいいッ

あっ

んっ

はあ…はあ
フミちゃん

フミちゃんの中
ウネウネして
締めつけてくる

ぐ
ぢゅ

ぐ
ぢゅ

ほ
ぢゅ



あ♡ん♡
あ♡♡

あ♡♡

あ♡♡

ん♡
ん♡

くっ♡

ドクッ♡

ドクッ♡

ドクッ♡

くっ出る!!
出すよ
フミちゃん…ッ!!



ああ

ああ

ああ

ああ

はあ...はあ
精液溢れてるう

あ
あ
あ

あ
あ
あ

ゴボ

ゴボ

はあ

ああ

なにこの
ネバネバしたの

あれ…私なにやって…
え…? どうして
裸なの…え? え?

やだあ…あそこから
白い液体が溢れてる

ああ



はっ！しまった！
また妖怪に流されて
よーし！俺のともだち
忘れん坊！

よーし！って
忘れん坊便利すぎっしよお
てかあーた流された言いながら
ノリノリでやってるっしよッ！

そんなことはないさ
これもすべて
妖怪の仕業さっ！

